

National Police Agency

警察庁

警察庁事務官採用案内

Recruiting guidebook 2022

採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03)3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩1分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区 北二条西7丁目	(011)251-0110 内線6032	JR「札幌駅」下車 徒歩15分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎8棟15階	(022)221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03)3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館22階	(048)600-6000 内線2636	JR京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052)951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「市役所駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区谷町2丁目1番17号 大阪第二法務合同庁舎7階	(06)6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線「天満橋駅」下車 徒歩10分 又は 大阪メトロ谷町線、 中央線「谷町四丁目駅」下車 徒歩10分
中国四国管区 警察局警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082)228-6411 内線2632	JR広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087)821-3111 内線2632	JR「高松駅」下車 徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092)622-5000 内線2632	JR「吉塚駅」下車 徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線 「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分



National Police Agency

警察庁

警察庁事務官採用案内

Recruiting guidebook 2022

国家公務員採用一般職試験
(大卒程度・行政区分／高卒者・事務区分)

警察庁事務官について

警察庁事務官は、特に、人事、会計、給与・厚生、情報管理等の業務において、その中核となって活躍する存在であり、犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する事務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当とする警察庁技官と一体となって、警察行政を担っています。

警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と各管区警察庁又は東京都若しくは北海道警察情報通信部で採用される場合があります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合があります。

九州管区警察庁（福岡市）

管轄／福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄



中国四国管区警察庁（広島市）

管轄／鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知



北海道警察情報通信部（札幌市）



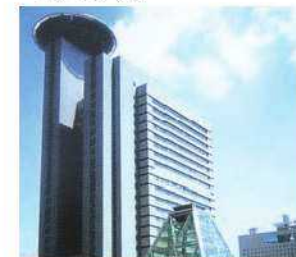
東北管区警察庁（仙台市）

管轄／青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島



関東管区警察庁（さいたま市）

管轄／茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡



警察庁本庁



東京都警察情報通信部（東京都）



四国警察支庁（高松市）

管轄／徳島、香川、愛媛、高知



近畿管区警察庁（大阪市）

管轄／滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山



中部管区警察庁（名古屋市）

管轄／富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重



National Police Agency

Contents

第1部 組織紹介

警察機構図 4

第2部 警察庁本庁

活躍のフィールド 7
職員からのメッセージ 9
若手職員Q&A 10
職員の日 11

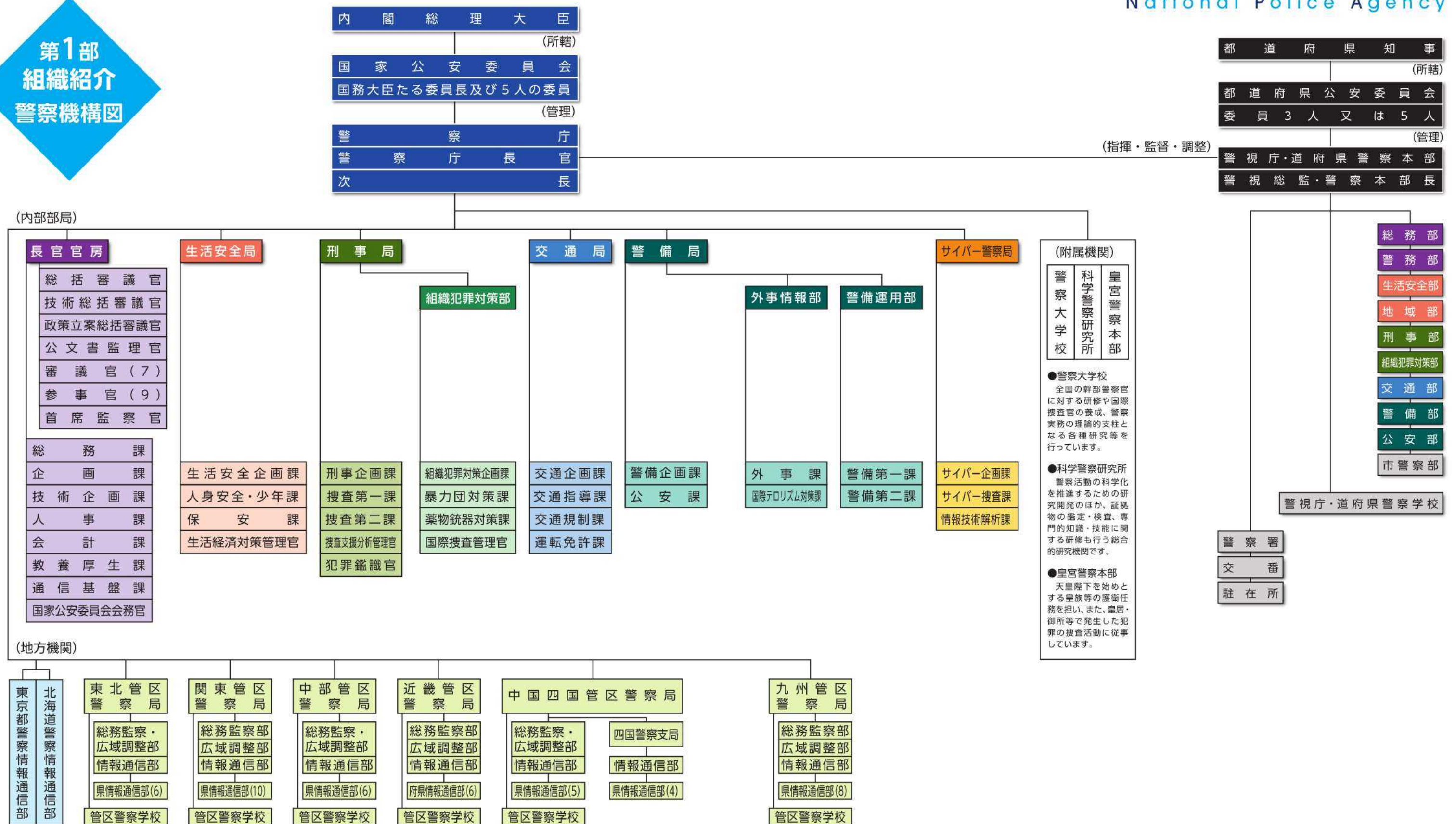
第3部 管区警察庁 東京都・北海道警察情報通信部

活躍のフィールド 13
職員からのメッセージ 15
若手職員Q&A 16
職員の日 17

第4部 特集

ワークライフバランス
仕事と育児の両立のための支援制度 18
勤務地等についてのQ&A 19

第1部 組織紹介 警察機構図



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO(国際刑事警察機構)への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

◆活躍のフィールド

成長を実感できる仕事



人事課 係員 平成29年入庁

私は長官官房人事課庶務係の一員として、職員の出張で要する費用の請求を行う旅費業務や、公務員宿舍の貸与等の手続きを行う宿舍業務を主に行っています。

庶務係の業務は多岐に渡り、国会対応、勤務時間管理、給与支給、各種保険の加入請求手続き、物品の管理のほか、庁内各課との連絡窓口等を担っています。

勉強の毎日ではありますが、上司や先輩の方々に支えられながら、様々なことを学ぶことができ、日々成長できていると実感しています。また、警察庁では、全国の警察職員の方々と業務で関わることができ、各都道府県警察等で様々な経験をしている職員からアドバイスを受けることもできます。

警察庁事務官の業務は、庶務業務のみではなく多岐に渡っており、警察組織を支える上で不可欠な仕事がたくさんあるので、皆さんがやりがいを感じることでできる業務が必ずあります。

警察職員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしております。

責任感を持って



会計課 係員 平成27年入庁

私は会計課の一員として、物品の管理に関する事務に携わっています。管理といっても、取得、保管、供用、処分など手続は様々であり、主にこれらに関する書類の確認を行っています。

日々多数の書類を確認していく中で、新たな装備品の取得やポスター作成による啓発活動など、業務を通じて最新の警察活動を幅広く知ることができる点には、面白さがあります。一方で、これらの要求に伴い発生する費用は国の予算から執行するものであり、常に責任感を持ち、厳しい目線で確認業務に取り組んでいます。牽制機能をより高めることが適正な事務手続につながっていると思うと、やりがいを感じられます。

警察庁に厳しい印象をお持ちの方もいるかもしれませんが、私自身も初めは不安でしたが、上司や同僚とは気軽に相談できますし、明るく雰囲気の良い職場です。警察行政を支える一員として、皆さんも是非一緒に働いてみませんか。

第2部
警察庁本庁

警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中核機関であり、各種施策の企画立案等に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。



警察職員の一員として誇りを持って



組織犯罪対策企画課 係員 平成31年入庁

私が所属している組織犯罪対策企画課犯罪収移転防止対策室は、特定事業者から届けられた疑わしい取引に関する情報を集約し、整理・分析して捜査機関等に提供する業務を中心に犯罪収益移転防止法の施行において中心的役割を果たす組織です。

私の主な担当業務は、特定事業者が作成した疑わしい取引に関する情報等が記載されている疑わしい取引の届出の内容を確認・訂正を行いデータベースに情報を登録するといった業務を行っています。特定事業者から提供された情報を最初に取り扱う業務のため、細心の注意をもって丁寧かつ迅速に業務を遂行することを心がけています。

当初は業務に関して何もわからない状態からのスタートでしたが、上司や先輩の指導を受けながら真剣に担当業務に取り組むうちに、専門的な知識を身につけることができ、今では担当業務を説明する立場になりました。

警察庁事務官の業務は多岐にわたっており、すべて警察活動を支える重要な業務です。

誇りや使命感を実感できる仕事をしていませんか。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

職員からの
メッセージ

会計課装備室長
松本 孝作
Matsumoto kousaku

経 歴

昭和58年4月 入庁
平成21年3月 福井県警察本部会計課長
平成23年3月 警察庁会計課会計監査官
平成25年3月 関東管区局会計課調査官
平成26年3月 警察庁会計課課長補佐
平成29年3月 北海道警察本部総務部参事官兼会計課長
平成31年4月 警察庁会計課課長補佐
令和 2年3月 科学警察研究所会計課長
令和 3年4月 関東管区局会計課長
令和 4年3月 現職



明るい雰囲気が伝わるように



総務課 係員 平成31年入庁

私は、警察庁幹部の秘書として、スケジュール調整や決裁・報告の受付、来客対応等、幹部が効率よく業務を遂行できるよう幅広くサポートをしています。

秘書業務を円滑に行うためには、周囲の変化をすぐさま察知できるよう、常にアンテナを張り幹部の動きを把握することが重要です。また、幹部によってサポート方法が異なることから、コミュニケーションをしっかりとることが大切です。

私は、明るく丁寧な対応をとることを一番に心掛けています。職場内に問わず、さまざまな方と接する機会が多いため、警察組織の明るい雰囲気が伝わるよう意識しています。また、的確な対応がとれたときや、感謝を伝えられた時は、大きなやりがいを感じます。

警察庁事務官は、秘書以外にも様々な業務があり、警察組織の基盤を支える大切な役目を果たしています。また、警察庁は経験豊富な全国警察職員の方々と一緒に仕事ができるのも魅力の一つです。

警察職員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

社会の正義と秩序維持のために

現在、私が勤務する会計課装備室は、車両、船舶、航空機といった、全国警察が扱う主要アイテムをはじめ、拳銃、防弾チョッキなど様々なツールに至るまでを整備している所属です。

警察活動には、困りごとからテロや災害対応まで様々な場面があり、それぞれの局面に必要な装備資機材を整備することが重要です。

昔から警察はマンパワー（人）が基本とされてきましたが、最近では、SNSの普及やドローンの出現など、人力だけではカバーできない部分が発生しているように思います。

社会の価値観が変化し、技術革新と相まって警察活動にも変化が発生しているように、これらに合わせて警察の装備にも変化が要請されています。

例えば、警察車両のカーボンニュートラル政策（温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す政策）に伴う見直しなど、大きな課題が山積しています。

これまで、警察庁での勤務をはじめ、現場である都道府県警察や管区警察局での勤務など様々な場面で様々な経験をし

てきました。

その中で感じたことは、現場活動は警察官が奮闘し、我々は後方支援の役割ながら、同じ目的意識を持って業務に携わっているということです。

それは「社会の正義を貫き、秩序ある営みを実現する」ということではないでしょうか。

社会の変化とともに、我々も新陳代謝が求められています。高邁な意識を持った若い世代の皆さんに後世に伝えていただきたいことは、我々の業務は各般に亘りながら、その目的の根幹には「社会の正義と秩序ある営みを支えるものである」ということです。

皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

若手職員
Q&A

Q

入庁の決め手は？

捜査第二課 係員
令和3年入庁

A

日本警察の中枢であり、治安維持という崇高な理念の下、日本警察の基盤を支える警察庁に魅力を感じ入庁を決意しました。また、官庁訪問の際に対応してくださった先輩職員の方々が、日々の業務内容や、警察庁職員だからこそ味わうことのできるやりがいを熱弁してくださいました。先輩方の誇りを持って仕事をしている姿に魅力を感じ「私もこの方々と一緒に日本警察を支える仕事がしたい」という気持ちが強くなったことも、入庁を決めた理由の一つです。

Q

職場の雰囲気は？

国際捜査管理官付
係員
令和2年入庁

A

入庁するまで警察組織は、上下関係が厳しそうだなというイメージを持っていましたが、上司や先輩方は質問があれば丁寧に教えてくださり、また、相談があれば親身になって聞いてくれるので、係や所属の違いに関係なく気さくに話すことができる雰囲気の良い職場だなと思っています。

また、ワークライフバランスの推進で様々な制度が充実していて、育児休業を取得する男性職員もあり、仕事とプライベートを両立させて活躍することができる職場だと感じています。

Q

今の仕事の内容と
苦勞している点は？組織犯罪対策企画課
係員
令和3年入庁

A

私は現在、都道府県警察及び他省庁に対して警察情報を提供する作業や職員が利用する端末の申請や登録作業を行っています。

業務上ExcelやAccessなどを使用することが多く入庁した当初は知識が無くとても苦勞しました。

また、外部の方と電話することが多いため電話対応にも苦勞することが多くありましたが、上司や先輩のサポートのおかげでたくさんのことを学び、現在は大変なこともありますが、とても楽しくやりがいを感じながら仕事をしています。

Q

志望者への
メッセージ警備企画課 係員
令和3年入庁

A

私は現在、警備企画課に所属し、職員の給与厚生に関する業務に携わっています。

警察庁事務官としての業務は多岐にわたり、警察組織の基盤を支える役割として、責任感と誇りを持って働くことができます。また、警察庁は福利厚生の制度も整っており、仕事だけでなく私生活も充実した生活を送ることができます。私自身、覚えることも多く大変な毎日ですが、心地よい充実感とともに働くことができます。

皆さんと一緒に、警察職員の一員として働くことができる日を心待ちにしております。

職員の1日

犯罪鑑識官付 係員
平成26年入庁

休日は友人や家族と日々の疲れを癒やしに水族館に行ったりしています。年間パスポートを所有しているため、気軽に行くことができ短時間でも動物たちを見るだけで自然と癒やされます。また趣味のカメラで撮影をし、それを加工してTシャツ等を作るなど自分の時間を楽しんでいます。休日を満喫することで、気持ちを切り替えることができ、また仕事を頑張ろうと思うことができます。

8:00 出勤

早出勤制度を活用し、通勤ラッシュの混雑時間を避けて出勤しており、通勤時間は音楽を聴きながらリラックスして出勤しています。出勤後は、上司や同僚と雑談しながら業務開始時まで過ごし、勤務開始時間とともに気持ちを切り替えます。

8:30 確認作業

警察庁の指掌紋業務は、犯罪現場に行って指掌紋の採取をしているのではなく、都道府県警察から送付されてくる指掌紋をデータベースと照合するなどの業務を行っており、私は照合結果を確認する業務に携わっています。犯罪現場から採取された指掌紋は不鮮明なものも多く、確認作業はとても大変ではありますが、この確認結果が、事件解決に結びつくこともあるため、日々やりがいを感じつつ、責任感をもって従事しています。

12:00 昼食

持参したお弁当を事務室で食べます。たまに庁舎内外で同僚や上司と一緒に食事をすることもあります。食事後は午後からの仕事に備えてしっかりと休息をとります。

13:00 報告書作成

午前中の確認作業で発見したものは、報告書を作成し、上司の決裁を受けます。この報告書を基に指掌紋の送付があった都道府県警察に回答するため、絶対に誤りは許されません。そのため、正確かつ誰が見ても分かりやすい報告書作成を心掛けています。

16:45 退庁

業務が滞りなく進めば基本的に定時で退庁しています。退庁後には趣味の時間を楽しむことができ、仕事帰りにプラネタリウムに行ってリフレッシュするなど、自分の時間を大切にしています。

◆活躍のフィールド

第3部
管区警察局東京都・北海道警察
情報通信部

管区警察局とは

警察庁の地方機関であり、警察庁と管区警察局の管轄区域内にある各府県警察本部との重要なパイプ役、調整役を果たしており、各府県警察の要請と全国又はその地域一体の警察運営の調整を図るなどしています。

全国には、6つの管区警察局(東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州)と1つの支局(四国)があり、管区警察局には附置機関として、管区警察学校があります。



東京都・北海道警察情報通信部とは

東京都警察情報通信部及び北海道警察情報通信部は、情報通信部門の地方機関のうち、管区警察局の管轄に属せずに警察庁が直轄する組織として置かれています。

なお、東京都及び北海道以外には、管区警察局の出先機関として府県情報通信部が置かれています。

警察組織を支える仕事

東北管区警察局情報通信部通信庶務課 主任 平成30年入庁

私は現在、東北管区警察局において、採用、人事、給与及び教養に関する業務を行っています。採用業務では、コロナ禍の実情に合わせながら、より多くの皆さんに業務の魅力を知ってもらうため、オンラインによる説明会の実施、YouTubeの動画作成、広報資料の作成及びホームページへの掲載、民間就職サイトへの掲載など、試行錯誤しながら採用活動を続けています。

私が担当する業務は、職員の生活に直結する人事給与に関するものや、警察組織の未来を担う人材の採用や教養に関するものなど、重要な仕事ばかりで難しさや責任を感じることがありますが、警察組織の根幹を支えていることを実感でき、達成感とやりがいを感じています。

警察庁事務官は、警察官のように第一線で活躍することはありません。しかし、警察組織には必要不可欠な存在です。国民の安全安心を守りたいという共通の思いを持つ仲間が警察庁にはいます。正義感溢れる皆さんとともに仕事ができる日を心待ちにしています。

誇りと使命感を持って

関東管区警察局総務監察部警務課 主任 平成8年入庁

私は現在、関東管区警察局総務監察部の警務課で教養及び装備に関する業務に携わっています。

「教養」業務では局員全体に対する研修の実施や管内の柔道、剣道、拳銃大会の開催などの業務を担当し、「装備」業務では管区局の車両管理や警察手帳などの装備品の物品管理などの業務を担当しています。

困難な業務もあり、局内又は管内各県警察の要望や相談も多く受けますが、このような業務を誠実かつ正確に行うことが第一線の警察活動の円滑な遂行につながるのだと実感することも多く、その点に誇りを感じております。

警察官のように第一線での業務とは違い、表にでる機会が少ない事務官の業務ですが、警察組織の一員としてひたむきに業務と向き合うなかで、自分の仕事が国民の安全・安心を守る警察業務の根幹を支えているという使命感を再認識し、それを感じながら日々業務にあたっています。

自分の仕事に誇りと使命感をもって働くことの出来る職場で皆さんをお待ちしています。



警察組織の一員として

中部管区警察局岐阜県情報通信部通信庶務課 係長 平成22年入庁

私は現在、岐阜県情報通信部通信庶務課において、物品購入、契約、予算執行等の業務を担当しています。最近では、県庁移転に伴う通信施設の設置工事や、無線中継所の解体撤去工事等に携わっていますが、警察無線は、事件・事故、災害の発生時等の警察活動に必要なツールであり、大変重要な任務です。プレッシャーもありますが、関係所属の担当者や相談しながら、チームで一つ一つの問題をクリアしながら仕事を進め、やりがいも楽しさも感じる充実した毎日を過ごしています。

また、過去に警察庁本庁において、職員の給与関係事務を担当した際、他省庁と折衝をするなど難しい業務にも従事しましたが、上司、先輩の助けを借りながら目的を達成した経験は、今の自分を支える自信にもつながっています。

警察庁事務官は、「人(職員の給与、厚生)、物(資機材)、金(予算)」を扱うことで、警察活動を支える大切な仕事です。国民の安全・安心を守るため、是非、私たちと一緒に働きませんか。



警察活動を影で支える仕事

近畿管区警察局総務監察部会計課 係長 平成8年入庁

私は現在、会計課の調達係において、警察活動に必要な資機材の購入、修理等の契約に関する業務を担当しています。

昨年度までは、施設の維持管理や国有財産の管理をする管財管轄係で勤務しており、令和4年度に庁舎移転が計画されていたため、地方整備局の担当者や施工業者と新庁舎のレイアウトの打合せ等に参加することで、新しい施設を造る業務に従事することができ、非常に充実感を感じました。

また、東日本大震災の際には、約一ヶ月の間、被災地の情報通信部に派遣され、被災施設の修繕等の契約業務に従事し、警察活動を支える一員であることを改めて実感し、警察職員として被災地の復旧復興に携わることにやりがいを感じました。

警察庁事務官の仕事は現場で活躍する警察官を支える裏方的な存在ですが、警察庁事務官だからこそできる業務も数多くあり、日々やりがいを感じながら勤務をしています。

皆さんも、やりがいを感じられる警察庁事務官として、一緒に働いてみませんか。



警察行政を通じて成長できる場所

中国四国管区警察局四国警察支局香川県情報通信部通信庶務課 主任 平成31年入庁

私は、香川県情報通信部通信庶務課で、物品購入や修繕などの契約業務を担当しています。

契約業務では限られた予算の中で、「何が」「どの時期に」「どの数量必要なのか」を精査したうえで予算を執行しています。単に予算内で執行できれば良いというものではなく、契約手続きに法令違反はないか、競争参加者が必要な資格を保有しているか、公平な競争が成立しているかなど多岐にわたる事項を確認しています。

また、警察という職務の性質上、特殊な物品の取扱いも多く、十分な配慮が必要であり、以前にヘリコプターに搭載している機器の修繕に携わる機会がありましたが、ヘリコプターや航空法関係の知識も乏しかったため、関係法令を確認し、経験豊富な上司にアドバイスをもらいながら手続きを進めました。これらの経験を通じて、法律を学ぶ機会が増え、通常では関わることのない部分に触れることができたことは自身の成長につながりました。

国民の生命と財産を守る警察業務に携われることに誇りに思います。みなさんと警察庁事務官として、警察組織の一員として一緒に働ける日を楽しみにしています。



東京2020オリンピック・パラリンピック支援班として

東京都警察情報通信部通信庶務課 係長 平成8年入庁

私は現在、東京都警察情報通信部で職員の勤務時間管理・旅費支給等の業務と、新型コロナウイルス感染症への対応としてワクチン接種の調整業務を担当しています。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは支援班として、全国の警察情報通信部から派遣されている応援派遣者の健康管理を担う業務に従事しました。首都圏に緊急事態宣言が発令されている中、応援派遣者の感染を防止し、クラスター発生による警備通信業務の停滞を防ぐため、約半年間、調整・実施に注力しました。

期間中待ったなしの対応の連続でしたが、応援派遣者から「気遣いありがとうございます。」などと声をかけられることもあり、やりがいと達成感を感じることができました。

日々の業務においては、他者あつての自分ですので、お互いが気持ちよく仕事をするためには、他者の関わる仕事を優先するよう心がけています。

当庁における事務官の役割は多岐にわたっており、警察業務は、警察官と一般職員が両輪となって初めて素晴らしい成果を生み出します。

未来ある皆様と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



職員からのメッセージ

安全・安心を支える一員として

私は現在、東北管区警察学校の会計課長として勤務しています。東北管区警察学校は、仙台市に隣接する多賀城市にあり、東北6県の警察官等警察職員の教育訓練機関として各種教養を実施しているほか、各級幹部職員としての資質の向上、警察術科の推進に取り組み、優秀な警察職員を育成しています。

そのような中で会計課では、学生がよりよい環境の中で勉学ができるように、学校施設の管理と計画的な整備を推進するため修繕・改修等の予算要求を行っているほか、工事契約や物品の調達、物品管理事務等において、適正な会計経理に日々取り組んでいます。

また、課長職として、職員が生き生きと仕事に取り組むことができるように、働きやすい職場環境づくりと、休暇取得の推進、超過勤務の縮減、仕事と生活の両立、業務の効率化などワークライフバランスを確保するための取組を推進しています。

私は東北管区警察局採用で、東北管区警察局をはじめとして東北管区警察学校や東北管区内の各県情報通信部で勤務してきましたが、それぞれの職場での経験とたくさんの人たちと知り合い交流を深めてきたことが、私にとっての貴重な財産となっています。

警察庁事務官は、警察官のように直接国民と接する機会は少ないですが、第一線の警察活動を支えるため、会計業務のほかにも様々な分野でたくさんの職員が活躍しており、国民の安全・安心の確保を実現できるとてもやりがいのある職業です。

皆さんも私たちと一緒に、日本の治安を守る一員として、是非警察庁で仕事をしてみませんか。



管区警察学校庶務課長として



関東管区警察学校は、関東管区10県と皇宮警察、警視庁の学生が入校してきますので全国一の規模を誇ります。巡査部長・警部補・主任・係長の各任用科の他、各種専科、管区機動隊訓練などで知識や技術の向上、また、それぞれの現場で国民のために仕事のできる人材の育成を担って各職員がそれぞれの立場で知恵を絞って仕事をしています。その中で庶務課は職員や学生の生活を支える業務を担っており、人事・給与・厚生・文書や物品の管理、図書、新型コロナ対策、秘書業務と多岐にわたります。

このような庶務課の業務において課長の役割とは、課員が気持ちよく仕事ができるように手助けをすることと考えています。もちろん主体として動かなければならない業務も各種ありますが、課内がうまく回るように気を配ることに気をつけています。課員が楽しそうに業務を行うことや、周囲から庶務課が明るくなりましたね、と言われるのがとてもうれしいです。

私は今まで、本庁各課の庶務係を経て、金融庁への出向、教養課職場教養係、長官秘書室、内閣府広報専門官、鑑識課専門官、総務課広報室課長補佐、関東管区警察学校庶務課長とステップアップして来ました。どの仕事もやりがいがあり、面白く楽しかったです。

皆さんも、警察庁事務官としてたくさんの経験をしてみませんか。いろんな出会いが待っていますよ。

若手職員 Q&A

Q 入庁の決め手は？

A 誰かの支えになる仕事がしたいという思いで就職活動をしていました。その際、警察庁事務官を知り、日本の根幹を支える警察組織の一員として仕事をしたいと感じました。一人一人にできることは小さなことかもしれませんが、多くの職員の思いや努力が大きな成果につながることを実感しながら、日々の業務に励んでいます。

Q 職場の雰囲気は？

A 個人のことをとてもよくみてくれる職場です。困ったときにはすぐに手を差し伸べてくださる方が多いので、頼りすぎないよう気を引き締めながらもあらゆる課題にチームとして取り組んでいくことができるよう意識しています。また、知識や経験の豊富な先輩方と関わることで業務の面に限らず人間性の面でも成長をさせてもらえる職場であると感じています。



九州管区警察局
福岡県情報通信部通信庶務課 係員
令和2年入庁



中国四国管区警察局
情報通信部通信庶務課 係員
令和2年入庁

Q 今の仕事の内容と苦労している点は？

A 私は現在、経理係員として主に職員の出張旅費や職務に必要な購入物品、電気料等の支払いに関する業務を行っています。支払いと一口に言っても案件ごとの事務処理は様々で、その都度根拠となる法令等と照らし合わせて処理する必要があります。また正確さが求められる仕事ゆえ、難しさを感じることもありましたが、それでも、同期に相談したり上司や先輩方にご指導いただいたりしながら、無事に完遂できたときは大きな達成感を得ることができ、やりがいを感じています。

Q 志望者へのメッセージ

A 警察庁事務官は、警察官や警察庁技官のように現場で働くことはほとんどありませんが、国民の安全・安心を確保する上で重要な存在です。私も自分の仕事が日本の治安維持の一助になっているのだと思い、日々誇りと使命感をもって働いています。また警察組織は、ワークライフバランスを重視しており、休暇の取得もしやすいため、公私ともに充実した生活を送ることが出来ます。皆さんも是非、警察庁事務官として国民の安全・安心を実現するために働いてみませんか。同じ職場で働ける日を楽しみにしています。

職員の1日



北海道警察
情報通信部通信庶務課 主任
平成31年入庁



休日は、趣味の旅行や舞台、ライブなど外に出ることが多かったのですが、情勢をふまえて、家の中でも楽しめる趣味に時間を費やすことが増えました。特に、学生時代に行っていた楽器演奏にまた熱中し、新たな楽器の挑戦や楽譜の作成など、おうち時間を楽しんでいます。



8:45 出勤

仕事の開始時間は8時45分ですが、少しゆとりを持って出勤するようにしています。混雑していることが多いので、空いている時間帯に出勤できるよう早出遅出勤制度の利用を考えているところです。仕事開始時はメールチェックと前日の業務点検、本日の予定の確認を行い、優先的に対応していく業務を決めています。



10:00 上司との打合せ

定期的に、上司や係内での打合せを行っています。業務計画や進捗状況の報告を行い、全体のスケジュールとの調整を行い、業務計画に反映させていきます。疑問点などを確認できる機会でもあり、効率的に業務を進めていくためにも欠かせないものとなっています。



13:00 各種業務

午後からは支払書類のとりまとめ作業を行います。担当している会計業務は、金銭の出納を伴うことから正確な事務処理が求められます。書類の記載内容、添付する書類の種類など確認を終えたら、上司の決裁を受けます。ボリュームも多いので、ひたすら書類と向き合う時間です。



17:30 退庁

計画的に業務を進めて、勤務時間が終わると退庁します。業務の状況によっては残業することもあります。計画的に業務を行うようにして定時に退庁できるように業務を組み立てています。退庁後は、映画館や温泉に行くなど、しっかりフレッシュするようにしています。

第4部
特集

ワークライフバランス

仕事と育児の両立のための支援制度



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制度等、ワークライフバランスを推進する制度があります。

男性職員から

東北管区警察局青森県情報通信部通信庶務課 係長
平成24年入庁



タイムスケジュール

6:30	起床、朝食、出勤準備
7:15	登庁
16:00	退庁
18:00	夕食、家事
19:00	子供とお風呂
20:00	子供の寝かしつけ
22:30	就寝

私は現在、青森県情報通信部の経理係長兼資材係長として、部内の予算の管理や契約、物品の調達・管理に関する業務を担当しています。

長女の幼稚園バスへの送りは妻が行っていましたが、2人目の妊娠がわかり妻の体調を考えたときに、朝の送りは私がやる必要があると感じていました。バスの送りをしていと勤務時間に間に合わないことに不安があったので、上司に相談したところ、早出遅出勤務制度の利用を提案され、バスの送りの時間に合わせた遅出勤務制度を利用しました。柔軟な対応を組織的にとって頂いた結果、精神的負担が軽減されました。いまでは、勤務時間を早出勤務制度に変え2人目の子供のお風呂入れや離乳食を食べさせるために、早く帰宅し、家族で夕飯を食べながら幼稚園の出来事や休日の予定について話しをするなどとても充実した日々を過ごしています。また、業務に追われる中で、上司に限らず時には部下からも積極的に仕事の割振りを提案されるなど、若い世代に仕事と育児に両立を後押ししてもらうこともありました。

このように警察庁では、制度はもちろんのこと、それを活用できる組織だと感じています。職場全体が仕事と育児の両立をサポートしてくれるので男性・女性問わず育児のことは心配せず、自分の力を充分に発揮できる組織です。

今度は私が皆さんの不安を解決する番です。是非一緒に働いてみませんか。



女性職員から

交通規制課 係員
平成29年入庁



タイムスケジュール

6:00	起床、出勤準備
7:00	子供起床、登園準備
7:15	朝食
8:00	登園、出勤
9:30	登庁
16:15	退庁
17:30	保育園お迎え
17:50	帰宅
19:00	夕食、子供とお風呂、子供との自由時間
21:30	子供寝かしつけ
23:00	就寝

私は現在、交通規制課で、職員の旅費支給に関する業務を担当しています。警察庁採用後、2回の育児休業を取得し、2回目の復職時には、復職と同時に所属異動になり、育児と両立できるか不安でしたが、警察庁ではワークライフバランスを組織全体で取り組んでおり、職場の協力体制が確立しているため、休憩時間の短縮と育児時間を取得し、仕事と育児の両立に努めています。

子供の体調不良で急遽休まなければいけないこともあります。周囲の理解や、子の看護休暇といった特別休暇の制度もあるため、休みを取得することができています。また、上司から積極的に休暇を取得するよう声掛けもあり、休暇を取得しやすい環境が確立されています。

仕事と育児の両立は大変な面も多いですが、上司や同僚と同じ仕事をする時間と子供たちと家でゆっくり過ごす時間のメリハリがあることで、以前よりも子供たちと接する時間を大切にできるようになり、充実した毎日を送ることができています。また、出産、育児を経験した先輩方がいるので育児の相談に乗っていただけるのも魅力の一つだと思います。

警察庁には出産を経験し、育休を経て復職した女性職員の方がたくさんいます。警察庁事務官は、育児をしながらでも働き続けることができる仕事であり、女性が活躍できる職場だと私は思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



勤務地等についての Q&A

Q 勤務地について教えてください。

A 【警察庁本庁採用者】
警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。

【各管区警察局等採用者】
管区警察局又は警察支局で採用された場合はそれぞれの本局及びその管轄区域内の府県で、東京都警察情報通信部又は北海道警察情報通信部で採用された場合はそれぞれの採用地での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合もあります。

Q 研修制度について教えてください。

A 業務の「戦力」としての活躍が期待されているため、採用直後に新任研修を受けるほか、昇任の都度、必要な研修を受けるなど、系統的に能力の向上が図られています。また、情報通信部門等の各分野において必要な研修、教養を受ける機会も用意されています。

Q 休暇制度はどのようなものですか？

A 年間20日間（採用年は15日間）の年次休暇のほか、3日間の夏季休暇があります。結婚休暇等の制度もあり、いずれも有給休暇となっています。

Q 仕事と子育てを両立するための制度にはどのようなものがありますか？

A 育児休業のほか、産前休暇・産後休暇、配偶者出産休暇、育児参加のための休暇、育児短時間勤務、早出遅出勤務、子の看護休暇等の制度が整っています。

Q 福利厚生はどうなっていますか？

A 共済組合制度があり、各種保険、短・長期給付事業等、職員が安心して快適に職務に専念できるよう福利厚生の充実を図っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。